広報 南国

編集発行 南国市役所 電話(代表)451番 印刷所 安岡印刷所

広報は…………みんな 読むもの…………つくるもの

二億六千三百万圓
34年度(十月―三月)予算決まる

南国市議会は十一日、三十四年度歳入出予算二億六千三百十四万二千円を可決した。これは原案より二百八十五万八千円少い。

〔歳入〕市民税三九、六一六、五〇〇円、地方交付税二一、〇五八、〇〇〇円、公営企業及び財産収入一九、〇〇二、〇〇〇円、分担金及び負担金三、六一八、八三〇円、使用料及び手数料一、〇七四、一〇〇円、国庫支出金三八、一五九、一六一円、県支出金二〇、五一一、〇九〇円、寄附金五、一四四、〇〇〇円、繰越金四、三四九、五九四円、市債一〇八、三六四、〇〇〇円、雑収入二、二五二、七一九円

〔歳出〕議会費四、七三三、六四二円、市役所費三〇、七九八、一九〇円、消防費二、九六二、九一〇円、土木費七、〇八一、五二〇円、教育費四七、四四五、六二四円、社会及び労働施設費四七、六〇五、四〇二円、保険衛生費二、八五六、九八二円、産業経済費九、〇二一、五一四円財産費二五三、九五七円、統計調査費五〇〇、二六〇円、選挙費二、二〇五、三八二円、公債費九六、三九七、五〇三円、諸支出金七、二九二、二六一円、予備費三、九六八、八五三円…

一般質問で頑張る

十二月定例では次のように一般質問が行なわれ、議場に活気がみなぎつた。（重復する質問は質問順位により省略した）

〔沢村議員〕本年度赤字の額と対策、国有林払い下げ

大同合併に伴う欠陥是正策と行政水準低下を避け施設の統一化について、新市建設審議会についてほか一件

〔土居議員〕総合開発の現段階と三十五年度のみとおし、教育正常化は行なわれているか、赤字をいかにして消化するか

〔永田議員〕民生委員推せん違法に関する善処方法、道路、関係予算について、工場誘致について

〔井上（満）議員〕三十五年度当初予算の規模、同一時借入金の一部返済する額、同長期債返還額その他と住民税の比率、市勤評書の提出状況と不提出校長に対する考え方、香長中学校建設進捗状況

〔山下議員〕福祉事業関係、都市計画について

商工漁業振興について

〔松木議員〕合併協議会当時の財政措置、健全財政の具体策を示せ、市財政のみとおしと市長の考え

〔橋田議員〕農民会館建設の考えはあるか、南海学園に通じる道路の拡張、公民館の使用方法、市役所職員の人数は適正に配置されているか

〔久米議員〕市の産経振興について

〔井上（可）議員〕合併による村境、赤字解消と都計、育成資産、衣笠川堤防工事

〔浜田（善）議員〕久礼田上水道と予算一般、三役と一般職の人事問題、市の産業について

〔平田議員〕市税徴収と冗費節約について

〔浜田（勇）議員〕市の施政方針、社会教育、教育行政勤評と学校管理、社会福祉事務について

農研連発足
決意も宣言！

市内ではこれまで旧町村ごとに農業研究会があつたが統合して強力な活動をしようとする気運が高まり、昨年十一月これまでの会を発展的に解消するとともに、南国市農業研究会連合会を結成して次の役員を選任し宣言を行なつた。

会長＝浜田広信（久礼田）副会長＝細川益源（野田）会計＝国沢嘉一（長岡）中村寿美子（大篠）普作部長＝依光義治（長岡）そ菜部長＝中村種稔（三和）果樹部長＝土居秀寿（十市）畜産部長＝山本道夫（日章）農生改部長＝岡晋（瓶岩）農政経済部長＝高橋増己（岡豊）監事＝横矢健一（岡豊）浜田燦（三和）

宣言

農業や農家生活の改善を目的とする私達グループが、南国市発足と共に一層強く大きく成長しました。部落や地区のグループは誕生して既に久しく、その活動実績も一般に普及しているが、この南国市農研連統合総会を機会に研究成果の交換や親睦により、農研意識をさらに高め市の農政と緊密な契りをもつて活動を推進する。私達はこの意義ある会に更に華をそえるため、従来かかげてきた私達の研究目標、

一、私達はこの集いが同志的なものであることを誇りとする。

一、私達は家族そろつて研究することに努める。

一、私達は生産をたかめ生活を明るいものとするため不断の研究をつづける。

一、私達は誠実で友愛にみちた良識を養うためにグループでの活動を尊ぶ。

一、私達は研究の成果が部落や地区、市の発展に役立つことを念願している。

以上のことを再確認し、関係各位の絶大なるご指導を期待し、決意も新に明日から研究に一層励むことを宣誓する。

ひかり……十市海岸で

土木工事次々に
国道舗装、防潮堤も

市内ではいま道路、河川、防潮堤などの改修工事が次々に進められており、二、三年後にはほとんどが完成しみちがえるようになつてくる。

その一つ、十市の防堤工事を昨年の高新記事によつてみると、同地区の加温園芸地帯を高潮から守るため、三十四年十月、総工費一億六千万円で着手。

この金は、南海地震による地盤沈下対策であるから全額国庫支出。防潮は長さ四、六キロ、高さ五、六五メートルのもので三十四年度は工費千八百七十万円、約六百メートルを築造する。

また岡豊から領石までの国道改良工事は工費一億七千万円を越し岡豊と一宮の間にある大坂峠の切り下げが始まつている。

本年度（三十四年）分工費は二千六百万円で、二千三百メートルの間に三十カ所あるカーブも半分近かくに削り取られる。

この工事が終ると一宮から領石までの路面は全部コンクリートで舗装される。

写真上は十市の防潮工事で大型工作機械を使用している。下は岡豊の大坂峠の路面切り下げ工事現場

団長一万三千円
消防団役員の手当

南国市消防団役員の報酬（年間）は、十二月議会で次のとおり決定した。

団長＝一万三千円、副団長＝八千円、支部長＝五千円、分団長＝四千円＝、副分団長＝二千五百円、班長＝二千円、

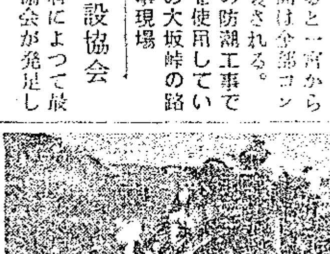
なお別に役員会出席の場合は日当三百円、訓練、火災など出動の際は二百円が支払われる。

ポンプの標識を統一

市では十二月末三十台にのぼる消防ポンプ運搬車の標識を書きかえた。

これまでは旧町村名が記入されていたため、すつきりせぬものがあつたが「南国市」と統一されたわけ。

初の出初め式
大津、介良消防団も参加



南国市初の消防団出初式は六日久礼田小学校グラウンドで大津、介良両村消防団参加のもとに行なわれた。

精鋭三百六十人の点検、操練ののち放水、服装競争などを行い、次の順位が決まつた。

①介良、②市三和分団、③同久礼田分団

小笠原氏に 第一助役

難航していた南国市の第一助役は、十二月市議会で、元県合併市町村育成本部次長小笠原豊暢氏が承認されて就任をみた。

同氏は高知市の自宅から通勤中。

同氏は長岡郡大豊村の産で高知農林卒、本年四十七才、二十余年にわたる役人生活の後、県上層部の進めで助役就任となつたもので、南国市育ての親の一人ともいえる。

なお西村市長は助役二人制の方針を持ち、第二助役を選考中で近日決定の模様。

課長係長クラス決まる
市役所の人事

市役所の課長クラスは昨年十二月十九日、係長は一月九日の次のとおり発令された。（〇印課長、▽印同補佐）

〔総務〕〇竹内英喜▽中沢健〔財政〕〇前田春義▽二宮博男〔税務〕〇高田修德▽山本泰一郎〔市民〕〇門田真一▽高木利弥〔産経〕〇村山忠夫▽国沢守道〔建設〕〇小笠原豊暢（助役兼務）▽門谷常男〔福祉事務所〕所長浜田茂満、次長土居彦馬〔出納室長〕唐岩白龍〔農委事務局長〕北村善之助（支所出張所長）領石＝田岡高行、岡豊＝橋村重春、三和＝岡田亀樹、十市＝土居美夫、日章（出）岩田哲太郎〔総務課〕庶務係長東村達夫、人事係長是利日出見〔領石支所〕第一係長野村速雄、第二係長山下泉〔福祉事務所〕庶務係長別府千代吉、保護係長太郎田勝、社会係長沢村泰誠〔建設課〕庶務係長井上克幸、土木建築係長国松義水道係長垣内英伸〔産業経済課〕商工水産係長西川利男、農林係長岩原親栄〔市民課〕戸籍係長和田幸重〔税務課〕市民税係長西川武夫、固定資産税係長岩崎巌、徴収係長北村泰博

なおこれに伴う一般の移動も若干行なわれたが、三月に大巾な異動があるのではないかとみられている。

教育長に岡氏
市教委組織さる

南国市組織教育委員会は十二月十八日開催され、委員長、同代理、教育長のほかそれぞれの任期が次のように決定された。

〔委員長〕西村信久氏（七〇）＝高知師範卒、元小学校長、旧岡豊村長、任期四年、無職

〔同代理〕岩村元治氏（五七）＝小学校教員養成所卒元大篠村長、旧香長村教育長、任期二年、農業

〔委員〕甲藤礼氏（五四）＝陸大専科、旧岩村教委、南国市暫定教委、任期三年会社員

山崎俊龍氏（四四）＝金沢医大卒、旧後免町教委、任期一年、開業医

〔教育長〕岡藤蔵氏（五七）＝文部検定（生理衛生、動物、体育三科目）合格、佐岡、大篠両小学校教員、中村高女、海南中教諭を経て十八年高知市立高女校長、二十四年高知商高校長となり三十四年十二月退職

教委事務局人事

総務課長（教育次長兼務）＝都築林、学校教育課長＝山島豊照、社会教育課長＝山本知一

選管に本田局長

市選挙管理委員会は十二月十九日、事務局長に本田幸男氏を選任した。

六百五十人希望の門出
―ことしの成人―

南国市の本年の成人式は十五日、後免野田小学校講堂で行なわれた。対象者は男子三百三十人、女子三百二十人で計六百五十人。

なお市からは記念の印入りフロシキが贈られ、記念撮影や講演、映画会、舞踊などで楽しんだ。

（全員氏名は次号に掲載します）

委員決まる
農業改良協議会

市内の農業を向上するための、南国市農業改良協議会委員は市長らによつて人選され、十一日次のとおり決定した。

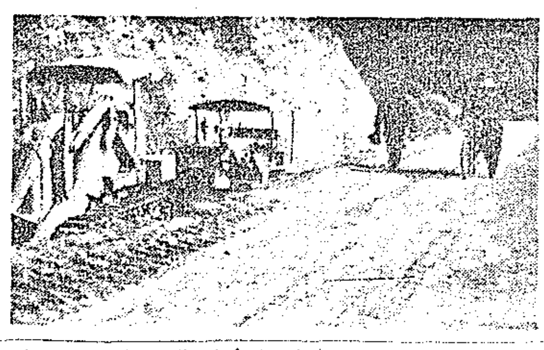
〔農委〕土居基（十市）、田村英実（瓶岩）、神田晴重（三和）、松下仁（日章）、沢田義郎（長岡）

〔農協〕横矢健一（岡豊）、池本豊亀（大篠）

〔市議〕久米徳幸（久礼田）吉川清司（野田）

〔市役所〕村山忠夫、国沢守道

〔学識経験者〕中沢浪治（大篠）、土居熊治（十市）



交際費60万円
市長十月―三月末まで

市長交際費は市長注目の的であつたが、十二月定例議会でいちおう六十万円に決定した。これは市発足の十月から年度末までの六カ月間に使われる。

なお西村市長は年間二百五十万円はさしつかえないというふくみを持つている。

県下新市の市長交際費年間（三十三年度の分）次のとおり。（単位千円）

室戸三、六九七、安芸一、七九二、土佐一、二八六、須崎一、一九七、中村二、〇九二、宿毛二、一〇二、土佐清水一、七五〇

南国市建設協会

市内の建設業者によつて最近南国市建設協会が発足した。

会長＝末次正実、副会長＝田内実吉、岩貞角寿、理事＝川久保千尋、三宮正、門田利治、野老山政済、田村喜夫、森下岩亀、西田末輝、田中壬生夫、会計＝山岡龍夫

こだま

黄金の年といわれる昭和三十五年がきた。ことしは皇室にも〃民間の血〃を受けた皇孫が誕生されることになつておめでたい限りである。「とよあしはらはみずほのくになるぞ。こうそんゆいて、おさめよ」以来ここに二千六百余年。新しい日本に、新らしいニニギノミコトが誕生されるわけ。▽皇孫ご誕生の報道にはラジオやテレビが登場する。そこで思うことは宇宙ステーション、月ロケツト。そして、一万光年二万光年などということばである。▽新しい星ができても地球でその光をキャッチするまでには、一万年も二万年も経ておる。つまり地球に光がとどくまでにはそれだけ時日を要しているということだ。また逆に、この星が消滅しても一万年、二万年後まで光を見ることが出来るわけになる。とすると、ニニギノミコトも、問題の紀元節も手の届くような近世のできごとのように思われる。▽その時の模様が光となつて、宇宙のどこかをいま走つているとすれば、精巧なテレビ受像機が出来るとそれをキャッチできる。そうして人類の歴史の全貌が見られるとは市社会教育課T氏の夢だ。なるほど、理論はなりたつ。最近のテレビ普及はたいしたもので、視聴覚教育に対する価値は大きい。とくに料理の時間など、見ていて食慾をそそられる。こんご、テレビの機能の進歩によつて料理の匂いが楽しめたら、それこそ視聴覚教育満点といえよう。においのある映画が発明されたと伝えられるから不可能ではないはずだ。▽石部金吉がヨロイを着て、石橋をたたいて渡る式の気構えも必要だが、年頭のいきぬきもあつてよかろう。